

なんだか最近  
評価が落ちてる  
相談室

以前は職場でもっと「できる子」だったのに…  
悩める女子たちの声に読者が優しくアドバイス。



大久保佳代子さん

お笑いコンビ、オアシズメンバー。芸能活動の傍ら会社勤務も経験するなど、異色の経歴の持ち主。



小倉 広さん

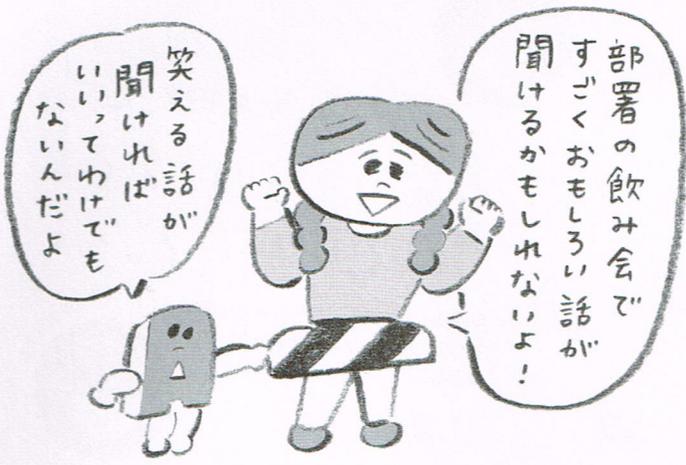
経営コンサルタント。リクルート勤務後、転職に。著書に『任せてもらう技術』（実業之日本社）など。

今週の悩み

異動させてもらえさえすれば、  
もっと仕事を頑張れるのに…

企画職希望で入ったのに、業務の部署に配属になり、そのまま4年が過ぎています。ひと通り仕事を覚えたら異動させてもらうつもりが、気づけばただただと何年も。タイミングを見ては異動願を出しているし、人脈づくりも今のうちに、と異業種交流会などにも積極的に参加しています。でも、肝心の異動願はちっとも受理してもらえない。営業や企画に入り、楽しそうに仕事をしている同期たちを見ると本当に焦るし、同期会ででもすごく惨めな気持ちに…。正直言って、今の業務ではモチベーションが保てないんです。同じ部署の人たちにもそれは伝わっているのか、上から任せられるのはルーティンワークばかり。飲み会などにもあまり誘われません。でもその部署の飲み会でくだらない時間を過ごすくらいなら自分磨きに徹したいし、それでいいや、という感じ。このまま異動がかなわなかったら、30歳になる前に転職しようかな、と考えています。(28歳・メーカー)

今の仕事に打ち込めない人に声はかからない。



部署の飲み会で  
すぐおもしろい話が  
聞けるかもしれないよ!

笑える話が  
聞ければ  
いいんだけど  
ないんだよ

おもしろい話にタメになる話、ついでにコワイ話も飛びかうのが会社の飲み会。たまには参加して!?

憧れの仕事はいいけれど、  
夢を見すぎるのもイタいかも。

小倉さん 希望の部署に回されず、不満。僕自身も以前そういう経験をしましたから、気持ちはよくわかります。でも、その時に学んだのは異動したかったら、自分から動いて勝ち取るしかないってこと。それに気づき、最終的には、自分の希望する部署で働くことができました。

したい仕事をするには、いくつかの要素が必要です。まず行きたい先の部署に引張ってもらわなければならない。それには引張ってもらえるだけの人間にならなければならない。そういう人間になるには、やはり今の仕事を頑張ることが大切なんです。一番簡単なのは、今の部署で一番になること。たとえやりたくない仕事でもスパ抜けた存在になって、「すごい子がいるな」とまわりに知らせる。そうやってから「企画に行きたいんです」と言えば、きっと「ぜひ」となるはずです。結局、異動願なんてものは形式でしかない。自分で努力しないままに突然幸運が訪れたり、白馬に乗った王子様が現れて夢の部署にさらってくれたりはしないんです。

今の仕事をやり切らないで次に移るのは、「宿題」ができていないのと同じ。役割を果たしてからでない次の段階に進めないし、仮に進めても活躍できないのです。

大久保さん そもそも今の時代、自分の思う会社に入れる人は少ない。会社に入って、希望する職種に就ける人はさらに少ないと思いますよ。そこを割り切って、会社の一員として真面目に働いている人が同じ部署にもたくさんいるはず。向上心を持たずに文句ばかり言っているのは、そうした人たちに失礼かな、と思います。

あと、もうひとつ違う見方をするなら、企画の仕事が本当に素晴らしいか? ということ。手垢のついた企画をやれと言われることもありますが、期限に追われてろくな企画を出せなかったり、つまらない飲み会だったってある。どこの部署も、意外とルーティンワークだったりしますから。夢を見すぎるのもよくないと思います。社会人たるもの、多少我慢しつつ、今の仕事を楽しくむねは必要ではないでしょうか。でも、我慢が尽きて本当はやる気があるなら、いつでも準備はできるはず。今から企画を立てたっていいと思います。会社が悪いから評価されないと思っても、具体的に行動を起こしても、時間は同じ。イヤだと思いがらまた4年が過ぎる前に、動いてみては。

社内だって、市場原理が働きます。

泣くのは逆効果、と実感。

先輩に書類のミスをおねえねえ怒られて思わず涙。すると、さらに怒られるように。あんなことで泣いた自分が悔しい! (20歳・事務)

過信から、うっかり失言…

取引先での会食で、調子に乗って失言。担当を外されました。可愛がられている、というおごりがあったと思います。(30歳・営業)

用語にうとくて恥をかいた。

入社2年目の頃。会議中ずっとコンセンサスを「コンサンセス」と発言。後から指摘されて恥ずかしかった…。(26歳・IT)

私も失敗…  
もしかして私、やっちゃった?  
アンケートで寄せられた、  
女子たちの職場での失敗談。  
人のフリ見て我がフリ直して。